

統計調査ニュース

令和8年（2026年）9月

No.478



令和8年社会生活基本調査を実施します ～「今」という時代を知るために～

総務省統計局長 永島 勝利

7月28日に発災した令和8年熊本地震によりまして、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。そして、このような状況の中で、統計調査の実施にご尽力いただいている統計調査員の皆様、地方公共団体の皆様には、感謝の念に堪えません。厚く御礼申し上げます。

統計局では、本年10月下旬に令和8年社会生活基本調査を実施します。この調査は、1日の生活時間や過去1年間の活動の状況など社会生活の実態を明らかにし、少子高齢化対策、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進など各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づいて実施するものです。昭和51年（1976年）から5年ごとに実施され、今回で50周年という節目の年を迎えます。

本調査の結果は、様々な場面で使われています。特に、事業者などを介さず「無償」で行われている活動の状況は、当然、企業からのデータには一切含まれませんから、本調査でのみ把握できる、極めてオリジナリティの高いデータと言

えます。具体的には、都道府県別の睡眠時間などは身近な数字としてマスコミ等で紹介されることも少なくありませんので、どこかで見聞きされた方もいらっしゃるかもしれません。また、家事や介護などの無償労働に関する結果は、SDGsの指標「5.4.1 無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合」に利用されますし、各種の男女別の結果がジェンダー統計として活用されるなど、国際的な場面での活用も本調査の特長の一つと言えます。

前回（令和3年）調査では、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やテレワークの普及などにより、国民の生活行動や生活時間に大きな変化が見られました。今回の令和8年調査では、コロナ禍を経て、さらにはここ数年来の生成系AIの急速な普及を受けて、我々の生活がどのように変化したかが初めて明らかになると期待されています。

調査に携わる多くの皆様におかれましては、このような本調査の意義をご理解いただいた上で、引き続き、調査活動へのご協力をお願い申し上げます。

目次

令和8年社会生活基本調査を実施します

～「今」という時代を知るために～ 1

令和8年度登録調査員中央研修を開催しました 2

令和8年社会生活基本調査 調査結果の公表について 4

「令和8年度統計指導者講習会（中央研修）」

を開催しました 5

令和8年度総務省こども霞が関見学デーに参加しました！ 6

10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介 7

「気になる数々、答えて未来へ」～毎月、実施しています～ 8

統計調査結果を分かりやすく見える化「統計Viz」の御紹介 9

令和8年度登録調査員中央研修を開催しました

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、統計調査員となる意思を有する方を「登録調査員」としてあらかじめ登録し、統計調査員の円滑な人材確保に資するとともに、研修等によりその資質の向上を図ることを目的とした「統計調査員確保対策事業」を実施しています。登録調査員中央研修は、この事業の一環として実施しており、地域において中核的・指導的な役割を担う登録調査員の資質の向上及び地域の枠を超えた相互交流を目的としています。

令和8年度は、7月13日（月）に全国から登録調査員45名、都道府県及び市町村の職員25名、計70名に御参加いただき、集合型（総務省第2庁舎）及びオンライン型（Webex）による同時開催を行いました。

1 挨拶

研修の開催に先立ち、北川政策統括官から、長年にわたり国の各種統計調査の最前線を担ってこられた参加者に対し、収集した調査票から得られるデータが社会経済の分析や政策判断を支える重要な基礎となっていることが紹介されるとともに、調査環境が厳しさを増す中でも統計調査を支えていただいていることへの感謝が述べられました。



政策統括官挨拶

2 講義「調査員活動における交渉術と

ストレスコーピング」

株式会社セゾンパーソナルプラスの竹内豊氏を講師に迎え、統計調査への協力を得るための交渉術とストレスマネジメントをテーマとした講義を実施しました。

講義では、調査対象者から協力を断られた際の対応について、想定される断りの理由への対応をあらかじめ準備しておくことの重要性や、相手の状況や真意を把握するための質問の仕方、相手の不安や事情に寄り添いながら協力につなげる対話の手法について学びました。また、相手の考えを否定せず、共感を示しながら信頼関係を築くコミュニケーションの大切さについて学びました。

受講者からは「対象者からの協力が得られにくいケースが必ず発生するが、お断りへの事前準備や理由の探り方など、調査活動に役立つ内容だった」との声が聞かれました。



講義の様子（東京会場）

後半では、ストレスをなくすことではなく、ストレスと上手に付き合いながら前向きに対処していくための考え方について学びました。ストレスの原因から一時的に物理的・心理的な距離を置いた上で気分転換をすることや、悩みや不安を書き出し、客観的に捉えて気持ちを整理すること、主語を変えたり確率で考えたりすることにより物事の捉え方や意味付けを変える「リフレーミング」、説明方法の工夫などによって自分でコントロールできる課題の解決を図ることなど、具体的な対処方法が紹介されました。また、調査員同士が支え合うためのコミュニケーションのポイントについても学び、グループワークを通じて調査活動に必要な対応力の向上とメンタルケアの重要性について認識を深める機会となりました。



グループワークの様子（東京会場）

研修後のアンケートでは、「調査活動を行う中では少なからずストレスを感じることもあるが、気持ちを書き出して悩みの原因を整理し、その捉え方を変えることがストレスや不安の軽減につながるということが分かった」、「『自分が否定された』のではなく、『調査への協力を断られただけ』という考え方を今後の活動にいかしたい」、「後進調査員への支援や相談対応にも役立つ内容だった」などの感想が寄せられ、調査活動における対応力の向上や、心理的負担を軽くするためのヒントを得る機会となりました。

3 講義「オンライン回答操作の実演及び実習」

前半では、オンライン調査の概要や実施方法と、政府の実施する統計調査でのオンライン調査実施率、オンライン回答率の推移などについて紹介し、オンライン調査を実施する上での統計調査員及び回答者のメリットなどについて講義を行いました。

後半は、政府統計オンライン調査総合窓口を使用した「労働力調査」のオンライン回答について、操作手順やオンライン回答ならではの便利な機能などについて説明を行い、受講者には講義の進行に合わせてスマートフォンなどからオンライン回答の操作を体験していただきました。



オンライン回答操作実習の様子（東京会場）

操作を体験した受講者からは、「オンライン回答を実際に体験することで、調査対象者へより分かりやすく説明できる自信につながる」、「研修の時間内で、補助を受けながらなんとか操作できた。帰宅後に再度挑戦してみたい」との感想が寄せられました。

4 班別討議及び討議内容の発表

事前に作成したワークシートを活用した班別討議を実施しました。「調査活動において成功した事例や成功に至った工夫」、「調査活動において困った事例・困難だった事例」をテーマに、東京会場及びWeb参加者が少人数のグループに分かれ、計11班で活発な意見交換が行われました。

討議では、参加者それぞれの実体験や課題を共有

するとともに、その解決策や効果的な対応方法について議論が進められ、各班の代表者による討議内容の発表では訪問時間の工夫として、宅配便の配達時間を目安としていることや、天気が悪い日は比較的在宅率も高く対面で依頼しやすいことなど、地域の実情や住民との日頃のつながりをいかした信頼関係の構築、事前準備の工夫、地域団体やマンション管理会社との連携など、各地域で実践されている様々な取組が共有されました。また、近年はスマートフォンを持っている高齢者も増加しており、オンライン回答の便利さを分かりやすく説明することで回答率が上昇した事例が紹介されました。



班別討議の様子（東京会場）

都道府県や経験年数をを超えて知見を共有し、参加者同士の交流を深めながら今後の調査活動に役立つ実践的な学びを得る機会となり、「他県の調査員や統計担当職員と交流し、地域を超えた共通の課題や工夫を知る貴重な機会となった」、「他地域の取組が参考になった」、「改めて調査員の役割の重要性を実感した」などの声が寄せられました。



班別討議の様子（Web参加）

登録調査員中央研修は、知識や技能の向上はもちろん、全国の仲間との交流を通じて新たな気づきや学びを得られる貴重な機会です。研修で得た経験や人脈を、今後の地域での調査活動にいかしていただければと思います。

今年度の参加がかなわなかった登録調査員の皆様にも、是非積極的に御参加いただき、今後の調査活動につなげていただけると幸いです。

令和8年社会生活基本調査 調査結果の公表について

本年10月20日現在で実施する令和8年社会生活基本調査では、生活時間の配分や自由時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的としています。本号では調査結果からどのようなことが分かるのかを具体的にイメージしていただくために、前回（令和3年）調査の結果の一部と令和8年調査結果の公表内容について御紹介します。

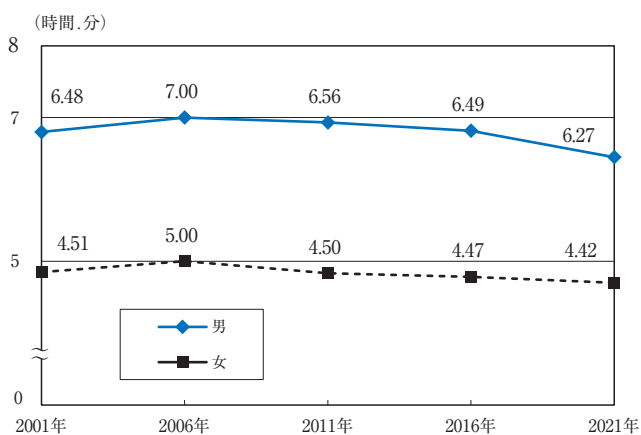
I 前回（令和3年）調査の結果

令和3年調査における1日の生活時間の配分の調査時期（2021年10月16日～24日）は、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」等が解除された直後となります。また、1年間の主な生活行動の調査時期（2020年10月20日～2021年10月19日）は、2回の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を含んだ期間となっていることに留意してください。

（1）1日の生活時間の配分－有業者の仕事時間

有業者（15歳以上）の仕事時間についてみると、男性が6時間27分、女性が4時間42分と男性が女性に比べ1時間45分長くなっています。過去20年間の仕事時間の推移を男女別にみると、2001年に比べ、男性は21分の減少、女性は9分の減少となっており、男女共に減少傾向となっています。（図1）

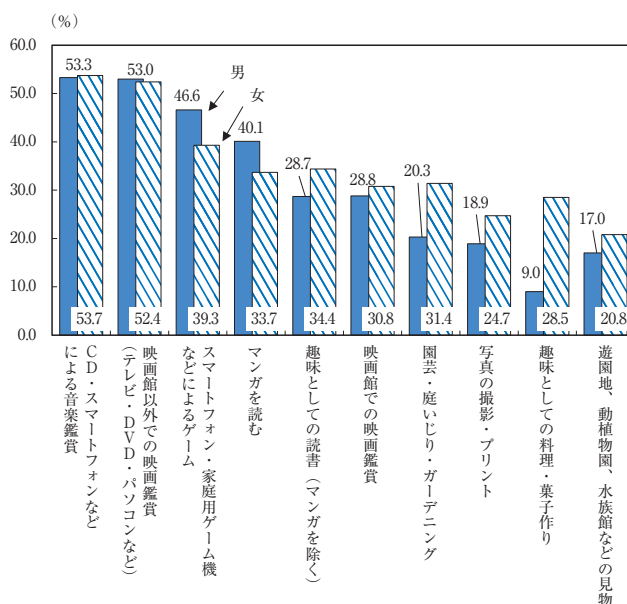
図1 男女別仕事時間の推移（2001年～2021年）
週全体平均、有業者



（2）1年間の主な生活行動－「趣味・娯楽」の種類別行動者率

「趣味・娯楽」の種類、男女別に行動者率^{（注1）}をみると、男女共に「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高く、男性が53.3%、女性が53.7%、次いで「映画館以外での映画鑑賞」が男性53.0%、女性が52.4%などとなっています。（図2）

図2 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率（2021年）
（注2）



注1：10歳以上人口に占める過去1年間（2020年10月20日から2021年10月19日まで）の自由時間において該当する活動を行った人（10歳以上）の割合

注2：「趣味・娯楽」の種類は男女総数の行動者率が15%以上の種類を表章

II 令和8年調査結果の公表内容と時期

調査票の種類	内容	地域（注3）	時期
調査票A （注1）	生活時間及び生活行動に関する結果	全国結果・ 地域別結果	令和9年 9月
調査票B （注2）	詳細行動分類による生活時間に関する結果	全国結果	令和9年 12月

注1：1日の生活時間の配分について、行動をあらかじめ決められた分類（20種類）に当てはめて回答する方式の調査票

注2：1日の生活時間の配分について、日誌のように自由に回答する方式の調査票。回答された内容に基づき、92種類の行動分類に格付けして集計

注3：地域別結果では、一部の統計表において都道府県・大都市圏などの結果を公表

「令和8年度統計指導者講習会(中央研修)」を開催しました

～統計指導者講習会とは～

総務省統計研究研修所では、小・中・高等学校教育の各段階における児童及び生徒に対する統計リテラシーを重視した統計教育の充実を図るため、統計指導に携わる教育関係者等を対象に「統計指導者講習会(中央研修)」を開催しています。

本年度の統計指導者講習会(中央研修)は、令和8年8月7日(金)に、ライブ配信にて開催しました。全国から実際に統計指導に携わる小・中学校及び高等学校の教諭等の方々に御参加いただきました。

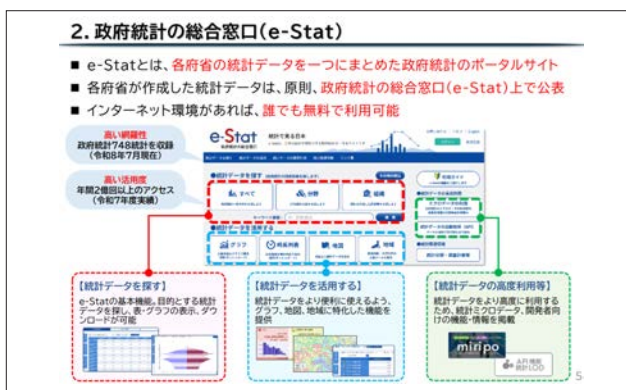
<講習会の内容>

○講義：授業で使えるオープンデータの使い方

(講師：総務省統計局統計情報システム管理官主査 千葉 新 氏)

本講習会では、実際の授業づくりの際に役に立つオープンデータの使い方について解説しました。

各府省が公表する統計を収録した「e-Stat(政府統計の総合窓口)」に収録されているデータの種類やその探し方(分野別検索、キーワード検索、データベース機能など)のほか、便利な機能として「統計ダッシュボード」を用いたグラフの作成方法を解説しました。また、地域(都道府県・市区町村)別に各種データが収録されている「社会・人口統計体系(SSDS)」を用いた地域別ランキングの表示方法、類似した地域間での比較方法や、「地図で見る統計(jSTAT MAP)」を用いた統計グラフの作成方法等について紹介しました。



(講義資料から)

○講義：新学習指導要領が目指す情報活用力

(講師：立正大学データサイエンス学部教授

渡辺 美智子 氏)

新学習指導要領において求められる統計教育、統計的思考(科学的探求)力の重要性について、講義していただきました。

近年の人工知能(AI)の飛躍的進化により、雇用の在り方や学校教育において獲得する知識の意味も大きく変化しているといわれています。そのような中で、統計のリテラシー教育として、「数理・データサイエンス・AI」に関する基礎的な知識の習得に向けて、初

等中等教育、高等教育、リカレント教育(社会人の再教育)の各段階において長期的に取り組むことが必要とされています。

本講習会では、課題の設定、必要なデータの収集・分析、分析結果を踏まえた課題解決を行う統計的思考力に関して、メジャーリーグにおいて本塁打の確率を高める打球の条件に関する分析として実際に使用されている事例(バレルの法則)などを解説していただきました。

○講義：統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例の紹介

(講師：埼玉県さいたま市立桜木小学校教諭 黒須 直之 氏
岩手県軽米町教育委員会事務局県北教育事務所

(軽米町教育委員会) 指導主事 稲垣 道子 氏
雲雀丘学園中学校・高等学校教諭 林 宏樹 氏)

(公財)統計情報研究開発センターが実施している「統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例表彰」において、小・中・高等学校の各部門で実際に受賞された先生方から、授業事例の内容を解説いただきました。

○班別討議：統計データを用いた学習指導案の作成

最後に、班別討議を実施し、児童及び生徒に何を学んでもらうか、どのような力を養ってもらいたいかを踏まえた上で、授業の目標を設定し、どのような統計データを用いて授業を展開していくのか具体的な学習指導案について討議しました。

討議終了後は、班ごとに学習指導案を発表して受講者全員で共有するとともに、渡辺教授及び優秀事例を御紹介いただいた先生方から指導・助言をいただき、今後の授業の実践に当たって工夫すべき点や指導方法等について理解を深めました。

本講習会では、教育現場ですぐに実践できる内容や、今後の統計教育に必要な情報の活用方法について講義いただきました。今後とも都道府県、関係府省、教育関係団体等と連携・協力し、引き続き研修の拡充や充実を図りたいと考えています。今回の講習会が、今後の統計教育の実践の一助となることを期待しています。

<問合せ先>

総務省統計研究研修所管理・研修部研修企画課

TEL 042-320-5874

E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

令和8年度総務省こども霞が関見学デーに参加しました!

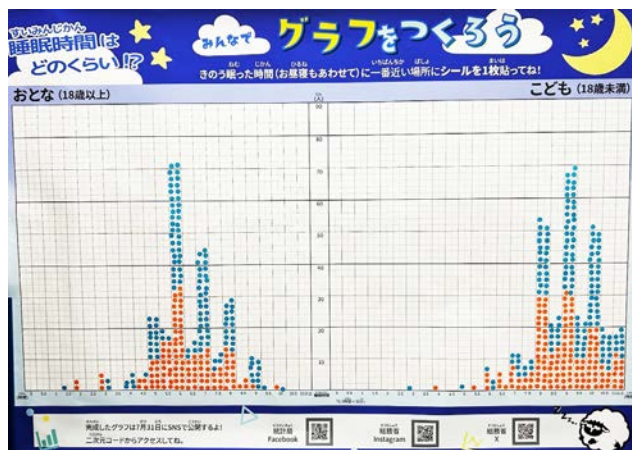
7月29日(水)及び30日(木)に令和8年度総務省こども霞が関見学デーが開催され、統計局は「統計の世界を体験してみよう!」ブースを出展しました。

7月29日(水)及び30日(木)に令和8年度総務省こども霞が関見学デーが開催され、統計局は「統計の世界を体験してみよう!」ブースを出展し、両日で約320名のこどもたちに来場いただきました。



当日のブースの様子

ブース来場者に参加いただいた「みんなでグラフをつくろう」のコーナーでは、前日の睡眠時間を回答し、該当する箇所にシールを貼り、睡眠時間のグラフを作成しました。グラフを作りながら、「みんなは何時間寝ているのだろう」「自分と同じくらいかな」など、自然と統計やデータへの関心を深めるきっかけとなりました。完成したグラフは、参加者同士で見比べながら楽しめるものとなりました。



みんなで作成した睡眠時間のグラフ

その他、「キッズすたっと」ではテーマに沿って該当するデータを検索する体験やこども向け学習サイト「宇宙統計ステーションNARUHODO」を活用して統計について学ぶ体験、折り紙やジグソーパズルなど、様々な企画を実施し、多くの参加者に楽しんでい

いただきました。また、統計調査の結果を一目で分かるよう視覚化したWebコンテンツ「統計Viz」も活用し、調査から分かる都道府県ランキングクイズも実施しました。ブース前では広報のため統計局に関する動画を放映したところ、統計博物館の紹介動画には足を止めて見る参加者も多く、訪れてみたいとの声も聞きました。

ブースに来場いただいたこどもたちには、スタンプを押してシールを貼り完成させる「統計の世界の探検家認定証」を配布し、最後まで楽しみながらブースを体験していただきました。



また、本年は、令和6年度以来となる「総務省キャラクター総選挙」が実施され、統計局イメージキャラクターのセンサスくんとみらいちゃんも登場しました。ブースではこどもたちとの記念撮影や交流を行い、多くの来場者でにぎわいました。キャラクターとの触れ合いを通じて、統計局や統計をより身近に感じてもらう良い機会となりました。



写真撮影の様子

10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介

10月18日は「統計の日」です。

総務省政策統括官(統計制度担当)では、各府省、地方公共団体等と連携し、この「統計の日」を中心として、国民の皆様に統計の重要性をアピールし、統計調査への御協力を働きかけるための行事を実施していますので、御紹介します。

令和8年度「統計の日」ポスター

「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうためポスターを作成しています。各府省や都道府県等に御協力をいただき、庁舎や公民館等の公共施設や、小中高等学校に掲示するとともに、総務省等のホームページに掲載するなど、多くの方に御覧いただけるように、広報活動を行っています。

また、毎年行っている「統計の日」標語の募集において、全国から応募いただいた標語13,173作品の中から特選に選ばれた山形県立谷地高等学校3年 齋藤美音さんの作品「今をデータに、未来をカタチに。」をポスターに活用しています。

この「統計の日」のポスターのデザインや特選・佳作に選ばれた標語は、各府省や地方公共団体等において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物、刊行物等に活用されるほか、業務で使用する封筒等にも印刷されるなど、幅広く活用される予定です。

令和8年度「統計の日」ポスター



統計データ・グラフフェア

令和8年10月17日(土)～18日(日)、東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において「統計データ・グラフフェア」を開催します。

統計データ・グラフフェアでは、統計グラフ全国コンクールの入賞作品の展示をはじめ、各府省の統計調査に関する資料、都道府県による統計データを活用した企画、「統計で振り返る昭和100年」の資料など、多彩な展示を行います。

また、統計関連コンテンツの体験や統計スタンプラリーも実施し、楽しみながら統計の魅力に触れていただける内容となっています。是非、御来場ください。

第74回全国統計大会

令和8年11月18日(水)、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール(東京都渋谷区)において、「第74回全国統計大会」を開催します。

全国統計大会は、国、地方公共団体、統計関係団体などの統計関係者が一堂に会し、統計調査功績者への各省大臣表彰をはじめ、左で紹介した「統計の日」標語の特選受賞者、「統計グラフ全国コンクール」の特別賞受賞者、公的統計データを利活用し優れた取組を進める地方公共団体に対する「地方公共団体における統計データ利活用表彰」の受賞団体及び統計分析力を活用した課題解決のアイデアを競う「統計データ分析コンペティション」における受賞者への表彰を行います。

第74回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会

上記の第74回全国統計大会では、第74回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会を、会場ロビーにて行う予定としています。小中学生から一般の方まで、広く応募いただいた中から入選した、工夫を凝らしたすばらしい作品を御覧いただけます。

地方公共団体主催の行事

《地方統計大会・統計功労者表彰式》

例年、都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式を開催し、統計功労者等の表彰、講演会等を実施しています。

《統計グラフコンクール入選作品展示会》

例年、都道府県では、統計グラフコンクール入選作品の展示会を開催しています。

詳細につきましては、都道府県にお問い合わせください。

令和8年度「統計の日」(10月18日)
関連行事の紹介は、総務省政策統括官室の
ホームページで、随時掲載していきます。



「気になる数々、答えて未来へ」 ～毎月、実施しています～

総務省統計局では、10月に労働力調査、家計調査及び小売物価統計調査の3つの統計調査を広く周知するための広報を行います。

この広報のナビゲーターを務めるのは、総務省統計局イメージキャラクターであるセンサスくんのみらいちゃんです。

昨年度に引き続き「気になる数々、答えて未来へ」をテーマに、新聞やインターネット広告を中心に統計調査の重要性を伝えていきます。

また、幅広い世代が目にしやすいコンビニエンスストア、スーパーマーケット、電車内、街頭及び駅構内でデジタル広告を活用し、より多くの方々に3つの調査を知ってもらえるよう、センサスくんのみらいちゃんが積極的にPRします。

【主な広報内容】

媒体等	内 容
新聞広告	読売新聞 全国版朝刊（令和8年10月 2回掲載予定）
インターネット広告	バナー（静止画）広告：Geniee（DSP広告）、SmartNews、Yahoo japan 動画広告：YouTube、TVer
コンビニエンスストア広告	ファミリーマート レジ液晶POP（静止画広告）（全国全店舗）
スーパーマーケット広告	デリッシュキッチンストアビジョン（動画広告）又はポスター掲示（全国）
電車内広告	東急田園都市線 TOQまど上ビジョン（動画広告）
街頭及び駅構内広告	東京都：シブハチヒットビジョン（動画広告） 愛知県：JR東海 名古屋デジタルスクエア（動画広告） 大阪府：J・ADビジョンWEST大阪駅ルクア前DS（動画広告）
統計局ホームページ	3つの統計調査の概要及び紹介 ・統計調査紹介ムービー（YouTube統計局チャンネルへのリンク） ・幅広い世代が気になる身近な調査結果について、より詳細なデータを質問形式で掲載
YouTube 統計局チャンネル	センサスくん、みらいちゃんが調査結果を紹介し、調査の回答を呼び掛ける動画（15秒）

詳しくは統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/info/kouhou/keijyou.html> を御覧ください。



統計調査結果を分かりやすく見える化 「統計Viz」の御紹介

統計局では、統計データをより分かりやすく、効果的に活用いただくため、視覚化コンテンツ「統計Viz」を提供しています。「統計Viz」は、BIツールを活用したダッシュボード形式のコンテンツで、パソコンやスマートフォンから手軽にアクセスできるほか、様々な統計データをグラフで直感的に把握できます。

コンテンツは、「主要指標」「統計調査別」「日本の統計」「テーマ別」の4つで構成されており、経済・社会の動向把握やデータ分析に幅広く活用できます。また、令和8年3月には「日本の統計」と「テーマ別」を拡充し、より多角的な視点からデータを確認できるようになりました。

知りたい統計データを探す際は、是非「統計Viz」を御活用ください。

主要指標

日本の“いま”を一目で確認

人口やGDPなど、政府統計の
6つの主要指標を視覚化



統計調査別

関心のある統計調査から探せる

総務省統計局が所管する統計調査の結果から
主要なグラフを選定しダッシュボード化



日本の統計

日本の主要分野を横断的に把握

人口・経済・社会など、日本の統計データを
分野別に整理し、手軽に使える形で提供



テーマ別

地域ごとの特徴や違いを見える化

「生活時間」や「通勤・通学」、「人口ピラミッド」
から地域の暮らしや人口構造を多角的に可視



統計Viz

調査結果が一目で分かるビジュアルライゼーションツール
<https://www.stat.go.jp/viz/index.html>



最近の数字

			人 口		労 働・賃 金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
			総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
											全国	東京都都区部	
			千人(Pは万人)	万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	2025=100	2025=100	
実数	2026.	3	122,811	6773	2.7	318,563	102.0	46.0	334,701	453,448	100.6	100.7	
		4	P 12286	6860	2.5	312,699	102.5	P 37.3	328,969	493,684	101.0	101.2	
		5	P 12281	6890	2.5	311,448	102.6	P 36.8	320,345	410,713	101.5	101.4	
		6	P 12285	6890	2.5	534,823	104.6	P 38.9	290,886	810,644	101.6	101.5	
		7	P 12293	6850	2.4	P 436,401	P 104.7	...	301,245	554,381	102.0	102.0	
		8	P 12268	...	...	...	...	...	...	...	...	P 102.4	
前年同月比	2026.	3	-	0.0	* 0.1	3.1	* -0.4	5.7	-2.9	4.6	1.5	1.5	
		4	-	0.9	* -0.2	3.6	* 0.5	P 3.8	-0.5	2.3	1.4	1.4	
		5	-	0.8	* 0.0	3.3	* 0.1	P 3.6	-0.4	0.6	1.5	1.3	
		6	-	0.2	* 0.0	4.0	* 1.9	P 4.5	-3.3	2.5	1.6	1.6	
		7	-	0.0	* -0.1	P 4.7	* P 0.1	-	-3.6	-3.1	1.9	1.8	

(注) P：速報値 *：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値。また消費者物価指数の2025年基準改定に伴い、前年同月比を遡及改定した。

掲示板 統計関係の主要日程（2026年9月～2026年10月）

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
9月2日	統計作成実務コース「指数に関する研修－鉱工業指数を中心に－」開講【ライブ配信】	9月2日	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～29日）
〃	オンライン統計研修【第2回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～29日）	7日	人口・経済統計コース「経済予測」開講【集合・ライブ配信】（～11日）
〃	オンライン統計研修【第2回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～29日）	15日	マイクロデータコース「マイクロデータ分析-Rによる統計解析-」開講【集合】（～18日）
〃	オンライン統計研修【第2回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講（～29日）	28日	管理者向けコース「統計幹部講座」開講【オンライン（eラーニング）】（～10月9日）
〃	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講（～29日）	10月1日	統計データアナリスト研修「本科（総合課程：後期）」開講【集合】（～12月3日）

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
9月4日	家計調査(家計収支編：2026年7月分)公表	10月20日	人口推計(2026年5月1日現在(令和2年国勢調査を基準とする確定値)及び2026年10月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2026年7月分)公表	23日	サービス産業動態統計調査(2026年8月分速報及び2026年5月分確報)公表
〃	消費動向指数(CTI)2026年7月分公表	〃	消費者物価指数(全国：2026年9月分)公表
18日	消費者物価指数(全国：2026年8月分)公表	〃	小売物価統計調査(都市別：2026年9月分)公表
〃	小売物価統計調査(都市別：2026年8月分)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編：2026年4～6月期平均)公表
〃	小売物価統計調査(構造編)2025年結果公表	27日	住民基本台帳人口移動報告(2026年9月分)公表
〃	Statistical Handbook of Japan 2026 刊行	28日	経済構造実態調査(2025年三次集計結果)公表
20日	統計トピックス「統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－」公表	30日	労働力調査(基本集計)2026年9月分及び7～9月期平均公表
24日	サービス産業動態統計調査(2026年7月分速報及び2026年4月分確報)公表	〃	消費者物価指数(東京都都区部：2026年10月分(中旬速報値))公表
〃	人口推計(2026年4月1日現在(令和2年国勢調査を基準とする確定値)及び2026年9月1日現在概算値)公表	〃	小売物価統計調査(東京都都区部：2026年10月分)公表
29日	住民基本台帳人口移動報告(2026年8月分)公表		
〃	令和7年国勢調査(人口等基本集計結果)公表		
10月2日	労働力調査(基本集計)2026年8月分公表		
〃	消費者物価指数(東京都都区部：2026年9月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都都区部：2026年9月分)公表		
9日	家計調査(家計収支編：2026年8月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2026年8月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2026年8月分公表		

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。